

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
平成 27 年度 第 5 回常務理事会 議事録

開催日時：平成 28 年 1 月 15 日 18:30～

出席者：兼子、浅野、柴、藤井、近藤、多和田、臼井、鈴木、森本

欠席者：諏訪

議長：兼子

議事録：藤井

【連絡事項】

兼子会長より 2 月の理事会までに事業計画案を提出し、承認を得ホームページに載せるとの発言があった。

法人対応部長の鈴木理事より法人対応部の事業計画案について説明があった。

一般社団法人移行時に公益目的財産額が 13,367,094 円あり、毎年 100 万円使用して 13 年かかると計算上出て来ました。しかし、公益目的収支額が 130 万円と増え当該事業年度末日の公益目的財産残高が 11,999,695 円となり、当初の予定より完了予定が 3 年間短縮された。

このまま行くと平成 36 年に終了する予定です。平成 36 年まで、毎年県へ申請しなければならないとの報告があった。今後年間公益目的支出額が増えれば、年々短縮していきます。

来年度の法人対応部の名称変更ですが、一般社団法人への移行・登記も終了し、公益目的支出計画実施報告も 2 度終え、法人移行に関する業務も落ち着いた為、法人対応部の名称は廃止とし、渉外部に変更する。

渉外部の下に生活習慣病委員会と環境改善委員会を置き、各 1 名委員を配置し活動をする。

会長より渉外部委員を作り、次の渉外部長を育てる様に行っていくとの意見があった。

鈴木理事より委員の選出方法はとの質問があり、今後考えましようとの会長の返答であった。できれば今の理事の中で委員を行ってもらうのが良いとの意見があった。

森本広報宣伝部長より生活習慣病委員と環境改善委員は何を行うのかとの質問があった。県の行なう大腸癌部会と、医療者の勤務改善委員会に出席してもらうとの説明があった。勤務環境は女性が良いとの意見があった。

平成 28 年度定時総会にて、平成 27 年度決算が承認された後、速やかに公益目的支出計画実施報告を電子申請にて行い、県の医療整備課と連絡をとりながら修正していくとの報告があった。

法人対応部の名称を渉外部に変更する。

庶務部長の藤井理事より平成 28 年度庶務部事業計画案について報告があった。

- 1) 研修会・連絡事項等の発送。(毎月 20 日)
- 2) 常務理事会・理事会の開催案内送付。(メールにて)
- 3) 事務所使用の管理
- 4) 日臨技・各種団体・会員よりの問い合わせ等に対応。
- 5) 各種の書類の管理。
- 6) 議事録の作成。
- 7) 会費管理に関する事項の対応。
- 8) 各地区の健康まつり参加申請書の対応。
- 9) 定時総会出席者の日臨技生涯教育研修制度への登録。
- 10) 定時総会の取り仕切り。
- 11) 総会関連の議決権行使書の作成。
- 12) マンション管理組合総会への出席。

会長より各種の書類の管理とありますが、登記は庶務部で行ってくれるのか法人対応部で行ってくれるのかとの質問があった。

鈴木法人対応部長より今は移行期のため法人対応が行っていますが、元々は庶務部で行なう事との回答があった。

新庶務部長ではわからないと思うので、今回は鈴木法人対応部長が定時総会までには書類を準備するとの報告があった。

会計部

平成 27 年度中間決算について兼子会長より報告があった。

ほとんど毎年同じで、会計士さんよりわかりやすくしろとの事で、少し文言変えてあるとの報告があった。

差額の大きい所を説明がいろいろあります。

収支計算書については、予算額と中間決算額の比較です。予算は 1 年分で、中間決算額は半分の半年分です。半分になるとちょうど良いが、上期にとか下期に集中することもあり、なかなか半分にならない。

正会員の会費収入 8,430,000 円の半分は上期で、半分は下期に分けて会計士の指導の元に行っている。

前年度と比べ増減があったのは、事務員の仕事が増えて給料が多くなっている。

ホームページのリニューアルで 17 万の支払いがあり増加となった。

講師の謝礼金で増額した。正味財産増減計算書では、前年度と比べて増えているのは、賛助会員の会費収入は、前年度中間は 0 円でしたが、当年度中間は、93 万の収入があった。前年度は、下期に入金があった。

研修会参加費収入が多かったのは、検査説明・相談のできる臨床検査技師の研修を上

期に行ったため増加した。

福利厚生費で永年表彰を行ったため増額した。

貸借対照表では、精度管理の参加費 42 万円が未収金であるが、上期の後半に行ったため、下半期に入金があった。

検査と健康展と秋季拡大研修会の助成金は下期に行われましたが、上期に入金があった。財産目録と残高証明書は資料のとおりです。

平成 28 年度収支予算について兼子会長より報告があった。

前年度との差額が±10 万円以上あった科目は、正会員会費 40 万円、研修会等参加費 13 万円、広告料 16 万円増額しました。

日臨技からの助成金が満額取れないため、学会研修会助成金を 14 万円減らしました。

事務員仕事が増え給料を 38 万増額しました。

永年表彰は、昨年より少ないため減額しました。

ホームページ維持費は仮契約から本契約を結んだため 29 万円増額しました。

消耗品費、製本費は、平成 27 年度分の減少に合わせ、減少としました。

試料代を増やしました。

機器リース料は、新しいコピー機のリース契約したため 15 万円増額しました。

学術事業は、学術誌製本費を減らしましたので、是非この金額でお願いします。

広報宣伝部は、ホームページを仮契約から本契約にしましたので増やしました。

収益では、ホームページのバナー広告料収入が増額となった。

組織調査事業は、永年会員表彰報償者の減少のため減額した。

事務所運営事業では、消耗品費を減額しました。

その他会計の共通事業では、正会員会費を増額しました。また、事務員作業増大のため、事務員給与を増額しました。

各部長さんに次年度計画を次の理事会の議案のために提出を求めた。

学術部

近藤学術部長より報告があった。

平成 27 年度・第 3 回部門長会議開催についての説明があった。

各部門から次年度役員・活動計画報告、新人サポート研修会内容確認、岐阜県臨床検査技師会誌、6 月 5 日の平成 28 年定時総会を議題とします。

岐阜県臨床検査技師会誌に 3 名の投稿がありました。

医学検査の論文の書き方の説明があった。論文のフォーマットを、はじめに、対象と方法、結果、考察、結語、連絡先という流れが良いとの提案があった。

はじめにと目的をどちらかに統一する事も考えなければいけない。

岐阜県医学検査学会のフォーマットには結語が無い場合、結語は必要であるとの提案があり審議を求めた。

森本部長より発言があった。論文は型にはめた書き方が必要であるが、県学会は内容が大事で、型にはめると多様性がなくなる為、型にはめなくても良いとの意見があった。

多和田部長より意見があった。新人だからこそ型にはめたやり方で、形式を覚えていくとの発言があった。

浅野副会長より意見があった。今回のフォーマットには、結語が無かったため、このような流れで行いたいと言う意見が出たと思いますが、実際先輩方がチェックをするので結語が無いのはありえないとの意見があった。

兼子会長がみんなの意見をまとめて、県学会はひな形は出さずに、おまかせでお願いしますとの発言があった。論文はしっかりとした形式で書いてもらいたいとの発言があった。

兼子会長より中部圏学会のシンポジストに岐阜県でカプセル内視鏡の話をしてもらいたいとの要請があり、県内を電話して探しましたが、現在行っていないため、岐阜県では行っていないとの返事をする事とした。

精度管理事業部

多和田精度管理部長より報告があった。

今月の1月31日に報告会を行います。午前中に第3回精度管理部会を行い、その時に年間のまとめと次年度計画を行います。

精度管理は本来参加費でまかなえるのが良いが、ご厚意に甘えて少しの赤字で行っている。

試料の方も、いつまでも九州の先生に頼るわけにはいかないため、いずれかは日臨技の資料を購入する事も考えている。また、精度管理のまとめの本を出しているが、見る人が少なく、ネットで必要な所だけ見て印刷する事が多く、40万かかるため今後検討が必要である。

多和田部長は、4年間精度管理事業部長を行ってきたので次年度は新しい部長で行っていき引き継ぎをしますとの報告があった。

組織調査部

臼井組織調査部長より報告があった。

平成28年度岐阜県表彰候補者に一柳好江先生を推薦します。

平成28年度叙勲については、岸正弘先生は、年齢が88歳までという事で、対象外のため、推薦不可となった。大橋繁夫先生は、日臨技の会長もしくは副会長を行っていないため推薦困難となった。

岐臨技の功労者表彰は、坂本寛文先生が対象となった。三田村先生は、副班長歴が2年あれば対象となるため確認をお願いします。

永年職務精励表彰は15名の対象者があった。

表彰規定の変更の検討を求められた。第 6 条「次のいずれに該当するもの」を「次のいずれかに該当するもの」に変更する。第 6 条 (2) 副班長の履歴がわからないため、「研究班班長を通年 4 年以上努め、且つ副班長歴が 2 年以上」を「研究班班長又は部門長を通年 4 年以上努めた正会員」に変更する。この場で皆さんの意見をいただき、理事会で承認を得たい。

永年職務は日臨技に入金があったデータからしか引っ張ってこれなく、岐臨技に入金があったと言うデータベースが無い。

庶務部

藤井庶務部より報告があった。

平成 27 年 12 月 25 日にコスタ岐阜県庁前管理組合第 23 期通常総会に出席し、4 つの議案が承認された。

その他

兼子会長より報告があった。

今年は会員名簿を発行しない。しかし、種村さんに作ってもらい事務所内で会員、賛助会員の方は見られる事をホームページに載せたらどうかとの意見があった。浅野副会長より、紙ベースはリアルタイムでは無いので、こまめに更新をしなければならないとの意見があり、承認された。

各部長さんは次期も行ってもらえるのかとの質問があった。学術部は帖佐先生か関先生に、精度管理事業部は佐藤先生に、組織調査部は徳洲会の清水先生で臼井先生がバックアップする事に、広報宣伝部は高崎先生で、渉外部は候補として柴さんで、会計と庶務と副会長は理事から選ぶ。地区総会で役員推薦委員と選挙管理委員を選ぶ。

多和田部長より賀詞交歓会を行なったらどうかとの意見が出た。また、技師長の懇親会も行ったほうが良いとの意見が出た。

議長 兼子 徹 

議事録署名人 浅野 敦 

議事録署名人 _____ 印